

新型コロナウイルスの流行と美術館の改修工事により、3年越しに実現！

第11回ヒロシマ賞受賞記念 アルフレド・ジャー展

PRESS RELEASE 2023.5



Music (Everything I know I learned the day my son was born), 2013

展覧会名 第11回ヒロシマ賞受賞記念 アルフレド・ジャー展

会期 2023年7月22日(土) — 10月15日(日)

開館時間 10:00—17:00 ※入場は閉館の30分前まで

休館日 月曜日(9/18、10/9は開館)、9/19(火)、10/10(火)

観覧料 一般1,300円(1,000円)、大学生950円(750円)、
高校生・65歳以上650円(500円)、中学生以下無料

※()内は前売り及び30名以上の団体料金

[前売券取扱] チケットぴあ(Pコード 686-467)、広島市現代美術館受付、オンラインショップ「339」



主催 広島市現代美術館、朝日新聞社

協力 Kenji Taki Gallery、SCAI The Bathhouse

後援 広島県、広島市教育委員会、中国放送、テレビ新広島、広島テレビ、広島ホームテレビ、
広島エフエム放送、尾道エフエム放送

第11回ヒロシマ賞受賞記念 アルフレド・ジャー展

広島市現代美術館は、2023年7月22日（土）～10月15日（日）の期間、第11回ヒロシマ賞受賞記念 アルフレド・ジャー展を開催いたします。当初2020年夏に予定されていた本展ですが、新型コロナウイルス感染症の広がりによる延期と、当館の改修工事に伴う休館期間を経て、3年越しに実現する運びとなりました。ご多忙の折、恐縮ではございますが、世界の第一線で活躍する現代美術作家による日本初の大規模個展となる本展について、ぜひ情報発信・取材にご協力いただければ幸いです。

本展のポイント

広島市が美術を通して平和に貢献した美術作家に贈る「ヒロシマ賞」

「ヒロシマ賞」は、美術の分野で人類の平和に貢献した作家の業績を顕彰することを通じて、広島市の芸術活動の高揚を図るとともに、「ヒロシマの心」を広く全世界にアピールし、人類の繁栄に寄与することを目的に1989年に創設されました。世界各地の美術館長、美術評論家等で構成する「推薦委員」と、過去の受賞者からなる「特別推薦委員」が作家を推薦し、国内の美術館長、美術評論家等で構成する「選考委員会」による選考を経て、広島市ヒロシマ賞受賞者選考審議会で最終候補者から決定。3年に1度授与されます。



《Shadows》2014

第11回ヒロシマ賞受賞者アルフレド・ジャー

アルフレド・ジャー（1956年チリ生まれ、アメリカ合衆国在住）は、世界各地で起きた歴史的な事件や悲劇、社会的な不均衡に、綿密な調査と取材にもとづくジャーナリスティックな視点をもって対峙してきました。公共の場での作品の提示や、写真、映像そして建築的な空間造形を伴った五感に訴えかける美しいインスタレーションによって、社会的、政治的、人道的な問題を人々に伝えてきた作家です。ヴェネチア・ビエンナーレをはじめ数々の国際美術展に参加し、各地の美術館で個展を開催するなど国際的に活躍してきました。日本国内では、1995年に当館で開催した被爆50周年記念展「ヒロシマ以後」に参加し、ヒロシマのための作品を制作するなど、ヒロシマと深く関わってきました。



《A Hundred Times Nguyen》1994

日本初個展！ヒロシマがテーマの作品も登場

ジャーにとって日本で初の大規模個展となる本展では、これまでの代表作をはじめヒロシマをテーマにした新作が登場します。2013年に発表された《Music (Everything I know I learned the day my son was born)》の広島版においては、広島で生まれた新生児の産声が作品の一部となっている他、ヒロシマを今日の問題として捉える作品が展示されます。どうぞご期待ください。



《The Sound of Silence》2006

第11回ヒロシマ賞受賞記念 アルフレド・ジャー展

受賞にあたってのコメント（受賞決定（2018年10月）時）

第11回ヒロシマ賞を授与していただくことになりとても光栄に思います。大変名誉なことだと感じると同時に、受賞者としての責任を重く受け止めています。この暗い時代においては、「ヒロシマの心」が今まで以上に必要とされています。栗原貞子とその崇高な詩「生ましめんかな」の中で示唆したように、私は「生ましめる」努力をしなければならず、また実際努力していくつもりです。



アルフレド・ジャー
Photo: Jee Eun Esther Jang

関連プログラム

対談：アルフレド・ジャー×中森康文（テート・モダン、インターナショナル（写真）部門シニア・キュレーター）

作家とキュレーターの中森氏による対談を通し、作家のこれまでの活動や作品の背景について掘り下げます。

日時：7月22日（土）14:00-16:00

会場：地下1階ミュージアムスタジオ

定員：100名（先着順）、申込不要、通訳付



学芸員によるギャラリートーク

本展担当学芸員によるツアー形式の作品解説です

日時：8月5日（土）、9月2日（土）、10月7日（土）14:00-15:00

要覧会チケット、申込不要



アートナビ・ツアー（アートナビゲーターによる展示解説）

当館解説員（アートナビゲーター）による作品解説です

日程：毎週土・日・祝日

時間：各日11:45-14:45（約30分、学芸員によるギャラリートーク開催時は除く）

要覧会チケット、申込不要

ヒロシマ賞授賞式、レセプション、作家記者会見、内覧会

7月21日（金） 午後 作家記者会見 ※詳細は1ヶ月前をめぐりに改めてお送りいたします
18:00-19:00 授賞式、レセプション、内覧会

本件に関するお問い合わせ

広島市現代美術館 広報担当：岩本、川空

〒732-0815 広島県広島市南区比治山公園 1-1 TEL: 082-264-1121（代表・掲載用） 082-264-1146（直通）

FAX: 082-264-1198 E-MAIL: f.iwamoto@hcmca.cf.city.hiroshima.jp WEB: www.hiroshima-moca.jp